

チサンチシヨウ

レッツ

# 地産地消



## TOCHIGI NO CHISANCHISHO

チサンチシヨウ  
地産地消とは 地元でとれた農産物を地元で消費することです。

### 地産地消のいいところ

#### 1 新鮮

私たちのもとに農産物が届くまでの時間が短いので、新鮮さが違います。

#### 2 安心

作る人の顔が見えるので、信頼と安心が生まれます。

#### 3 食育

食や農に関する理解を深め、地域の伝統的な食文化の伝承につながります。

#### 4 環境

生産地と消費地が近いので、輸送距離が短く、環境負荷軽減が期待できます。

#### 5 元気

生産者と消費者のコミュニケーションが生まれ、地域が元気になります。

### ちょっとずつ地産地消

いつもの食事や買い物のときに、県産品をみてみてください。



農産物直売所

栃木県産〇〇米、牛肉、いちご、トマト、にら、なし……



とちぎ地産地消推進店

### 学校給食における地産地消の取組

学校給食に県産の農産物を活用することで、児童・生徒が地域の農産物や農業への理解を深める機会が生まれます。県内の小中学校では、地産地消給食が広がっています。



#### 那須塩原市でとれる野菜たち(塩原大根編)

那須塩原市では、学校給食をとおして食物に対する興味や関心を高めるために、地産産物を積極的に活用しています。

塩原は、火山灰土壌と冷涼な気候があり、糖度が高いので食味の鮮やかさが、甘い大根ができます。特に秋から冬の大根は寒さから身を守るために糖分を蓄えるので甘くなります。根はツヤツヤ、肉質は柔らかいうえ、噛めやすく、口当たりが良い「塩原大根」を、JAGの会を通じて那須塩原市の学校給食に提供していただいています。

塩原産の大根は、9月15日まで



とちぎ地産地消県民運動実行委員会では、農産物が生産されている風景や生産者からのメッセージなどを収録したDVD「すごいぞ!! とちぎの農業」を作成し、県内全小中学校に配布しました。

給食の時間等に視聴することなどで、食と農業への理解が進むことを期待しています。

那須塩原市では、「すごいぞとちぎの農業」地産地消学校給食事業を活用し、地産地消給食の提供を行いました。また、地産地消給食に使われている農産物を電子黒板等で児童に紹介し、理解促進を図りました。



# 地域で広がる地産地消の取組

令和3年度

## 夢大賞

宇都宮市

### 進化する竹林「若山農場」(株式会社ワカヤマファーム)

- 一切化学肥料を使わない自然循環型農法によりたけのこや栗を生産しています。
- 地域の企業と連携して、たけのこの水煮や国産メンマ、栗を使った菓子などを商品化し、販売しています。
- 間伐した竹を使った工作教室、農業体験ツアー、ホームページやSNSを活用した情報発信により、竹の魅力や農業農村の魅力、食の大切さを伝えていきます。
- 資源活用、放置竹林解消、雇用創出につなげるため、県内の竹林所有者を対象に、孟宗竹のメンマ加工講習会を開催しています。
- 21ヘクタールの竹林は、多くのCMや映画などのロケ地として利用されるほか、多くの外国人も訪れており、日本の竹文化を世界に発信しています。
- カーボンニュートラルを目指し、竹材や竹チップを有効活用しています。



## 優秀賞

那須町

### 栃木から、世界一愛されるお米ブランドを目指して!(稲作本店)

- 減農薬栽培に取り組み、また、酪農家や野菜農家と連携して循環型農業を実践しています。
- SNSの活用、クラウドファンディングの実施などによりPRを行い、消費拡大につなげています。
- 6次化商品「イナボン」を販売しています。
- 「田んぼでカフェ」、「田んぼでCAMP」、「農業体験プログラム」などの企画や、小学校の出前講座など、地域資源の魅力を伝え、地域の活性化につなげていきます。



## 優秀賞

真岡市

### フードアクション芳賀〜輝け! 僕らの宝石たち〜 (真岡北陵高校 食品科学研究部・商業部)

- 真岡市の特産品であるいちごを使った商品開発や宣伝活動を機に、JAはが野、柿生産組合(茂木町)、いい里さがわ館(茂木町)等とも連携が広がり、地域に根ざした特産品の開発や販売を展開しています。
- 昨年度からは食品科学研究部と商業部で連携して販売やPR活動を行うことで、更なる波及効果を目指しています。
- 4年前から、JAはが野の広報誌の「北陵ごはん」コーナーにおいて旬の食材を使ったレシピを掲載しています。



## 優秀賞

野木町

### 「食」の大切さを理解し、「食」に対する感謝の気持ちを深め、健康な心と豊かな人間性を育む (野木町地産地消・食育推進協議会)

- 協議会は農業関係者、商工会、消費者などで構成されており、町ぐるみで活動に取り組んでいます。
- 町内の直売所やスーパー、コンビニ等に設置した地産地消コーナーで地場農産物の利用促進を図っています。
- 離乳食教室からふれあいサロンの栄養教室まで、全世代にわたる料理教室において、町産食材を活用したメニューを提案しています。
- 保育園や小学校の栽培体験や調理体験を実施しています。また、給食では地元農産物を積極的に使用し、郷土食や伝統料理の提供も行っています。





# 地産地消夢大賞

とちぎ地産地消県民運動実行委員会では、県内で地産地消に積極的に取り組んでいる団体等を表彰しています

## 優秀賞

高根沢町

～100年の時を超えて～高根沢町の日本酒づくりを復活  
(高根沢町日本酒づくり復活プロジェクト)

- 日本酒づくりの伝統を復活させるために、農商工の連携によりプロジェクトを開始しました。
- 青少年クラブ員が酒米を生産し、町オリジナルの日本酒を完成させました。また、大嘗祭で献上されたお米「とちぎの星」を使い開発した日本酒は、道の駅で販売され、好評を得ています。
- 生産するクラブ員も増えるなど、主食用米の需要が減る中で、新たな水田活用につながっています。
- 酒米生産の様子は、道の駅のHPやSNSを活用し情報発信しています。



## 奨励賞

足利市

おいでよ！ゆずの里

栃木市

コロナ禍における市内飲食店と連携した伝統野菜「生姜」を広める取組 (名草 craft 後藤 芳枝)

(栃木農業高等学校農業環境部 食品科学班)

名草地区の伝統野菜である「生姜」の消費拡大を目指し、地元の飲食店と連携して家庭用料理レシピを作成し、飲食店や小学校等に配布、SNSで発信等を行いました。生姜を地域で守るため、栽培体験等更なる取組を進めています。



「太平山ゆずの里」の認知度向上と観光客の増加を目的に活動を始めました。市内菓子店や県内製茶工場と協力し、ゆずを使った商品開発・販売を通じて地域PR活動をしています。

農産物直売所の取組

鹿沼市

宇都宮市

～わくわくマルシェで地産地消に取り組みます～  
(鹿沼南高等学校わくわくマルシェ)

～故郷とちぎの本物の味を～「とちラブ 夢おせち」  
(宇都宮短期大学附属高等学校)



当校の生徒は、SDGsの観点から循環型農業の重要性や魅力を授業で学んでいます。

これを地域に広めるため、学校内で定期的に直売所を開き、お客さんに直接農産物の説明をしながら販売を行っています。

また、安全・安心な農産物を提供するため、県GAPにも取り組んでいます。

コロナ禍でお正月に帰省できない本県出身者に、県産のおいしい食材を楽しんでもらうため、市内ホテルの料理長の協力のもと、地産地消をテーマにしたおせち料理の商品化に取り組みました。おせち料理は、SNSや学校のHP等でPRし、300セットを完売しました。また、地元の児童養護施設にも10セットを寄贈しました。



“江戸時代のしもつかれ”に見る次世代へ向けた文化伝承とその取組 (江戸時代のしもつかれプロジェクト)

収穫祭から学ぶ食育活動

鹿沼市

楽しい時間をありがとう。そして、いただきます。  
(鹿沼南高等学校～収穫祭から学ぶ食育活動～)

本県の郷土料理である「しもつかれ」の江戸時代の姿を、本県産農産物を使い再現しました。

また、このしもつかれの学校給食での提供や商品化を行うとともに、「しもつかれはじめてのものがたり」の絵本制作・配布や劇の公演により、児童生徒への郷土料理の魅力を伝えています。



授業や部活動で飼養管理している牛を、収穫祭の時に全校生徒と職員で食し、命をいただくことへの感謝の気持ちを育んでいます。

また、近隣の中学校へ家畜の役割や飼養管理についてリモートでの出前授業を実施するとともに、食材を提供し、食育活動を行いました。





# とちぎ地産地消県民運動実行委員会構成団体の取組

とちぎ地産地消県民運動実行委員会では、平成16年から「とちぎ地産地消推進方針」に基づき、①消費者と生産者の相互理解、②県産農産物の利用及び提供の拡大、③豊かなとちぎの食づくり、を目指して地産地消を県民運動として展開しています。

県内の様々な団体が、それぞれの特色を生かした地産地消の取組を行っています。

## 「毎月5と8のつく日は『栃木県民ごはんの日』」PR (JAグループ栃木)

JAグループ栃木では、「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、「毎月5と8のつく日は『栃木県民ごはんの日』」の取組を広く周知するため、マスクやのぼり、横断幕を作成しました。



また、JA栃木女性会では、米の消費に関する意識を高めるため「お米写真コンテスト」を開催しました。入選作品でポスターを作成し、お米の消費拡大を図りました。

## きのご料理コンクールの開催 (栃木県・栃木県特用林産協会)

新しいきのご料理の創造と需要の拡大を図るため、「きのご料理コンクール」を実施しています。今年度は、栃木県職員会館内のレストラン「ニューみくら」において、上位入賞作品を、県産きのごを使用し提供しました。



## 地産地消推進店の認定 (一般社団法人とちぎ農産物マーケティング協会)

栃木県内で採れた旬の農産物をメインに、心を込めて提供・販売するレストラン、菓子店、地元野菜のコーナーを常設しているスーパーマーケットなどを「とちぎの地産地消推進店」として登録しています。県内の地産地消推進店の数は、なんと300以上あります。意外と身近なところにありますので、マーケティング協会のホームページから探してみてください。



金のメダルが目印!

## スローライフ運動推進事業認定店 (栃木県商工会連合会)

スローフードとは、伝統的な食文化を見直し、食への関心を高める運動のことを言います。

スローライフ推進事業では、栃木県内で生産された質の良い、こだわりの食材を使用しているお店を認定しています。2022年は79店舗が認定されています。認定店は、商工会連合会のホームページに掲載されています。



ゆっくり代表のカメが目印!

## 発行：とちぎ地産地消県民運動実行委員会

—とちぎ地産地消県民運動実行委員会構成団体(令和3年度55団体)—

栃木県生活協同組合連合会 / 栃木県生活学校連絡協議会 / 栃木県市町村消費者団体連絡協議会 / 栃木県地域婦人連絡協議会 / 栃木県農業士会 / 栃木県女性農業士会 / 栃木県農村生活研究グループ協議会 / JA栃木女性会 / 栃木県酪農協会 / 栃木県特用林産協会 / (一社)とちぎ農産物マーケティング協会 / (一社)栃木県農業会議 / (公財)栃木県農業振興公社 / 全国農業協同組合連合会 栃木県本部 / 栃木県農業協同組合中央会 / 栃木県食糧集荷協同組合 / 栃木県卸売市場連絡協議会 / 栃木県酒造組合 / (一社)栃木県食品産業協会 / 栃木県旅館ホテル生活衛生同業組合 / 栃木県料理業生活衛生同業組合 / (一社)栃木県商工会議所連合会 / 栃木県商工会連合会 / 栃木県中小企業団体中央会 / (公社)栃木県観光物産協会 / 栃木県保育協議会 / (一社)栃木県幼稚園連合会 / 栃木県PTA連合会 / 栃木県小学校長会 / 栃木県中学校長会 / 栃木県高等学校PTA連合会 / 栃木県高等学校長会 / (公財)栃木県学校給食会 / 栃木県食生活改善推進員協議会 / (公社)栃木県栄養士会 / (一社)栃木県医師会 / (一社)栃木県歯科医師会 / (一社)栃木県薬剤師会 / (公財)とちぎ未来づくり財団 / 栃木県コミュニティ協会 / (福)栃木県社会福祉協議会 / (一財)栃木県老人クラブ連合会 / (株)とちぎテレビ / NHK宇都宮放送局 / (株)エフエム栃木 / (株)栃木放送 / (株)下野新聞社 / 栃木県町村会 / 栃木県市長会 / 関東農政局栃木県拠点 / 宇都宮大学農学部 / 作新学院大学 / 宇都宮短期大学 / 宇都宮短期大学附属高等学校 / 栃木県教育委員会 / 栃木県



## お問合せ

とちぎ地産地消県民運動実行委員会事務局 JA 栃木中央会総務企画部内

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9番地25 TEL:028-616-8540 FAX:028-616-8590

栃木県農政部農政課 食育・地産地消担当

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20 TEL:028-623-2288 FAX:028-623-2340

